

若者の地方体験交流の ご案内（2014年度版）



地域づくり

田舎ぐらし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL: http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No. 1	北海道ニセコ町	No. 24	福井県坂井市
No. 2	北海道当麻町	No. 25	福井県若狭町
No. 3	北海道遠別町	No. 26	山梨県小菅村（※）
No. 4	北海道平取町	No. 27	岐阜県御嵩町
No. 5	北海道陸別町	No. 28	滋賀県栗東市
No. 6	青森県七戸町（※）	No. 29	京都府綾部市
No. 7	岩手県花巻市	No. 30	奈良県川上村
No. 8	岩手県久慈市	No. 31	和歌山県紀美野町
No. 9	秋田県鹿角市（※）	No. 32	和歌山県紀美野町
No. 10	山形県小国町	No. 33	和歌山県日高川町
No. 11	山形県遊佐町	No. 34	山口県長門市
No. 12	福島県会津若松市	No. 35	山口県周防大島町
No. 13	福島県喜多方市	No. 36	徳島県美波町
No. 14	栃木県栃木市	No. 37	愛媛県宇和島市
No. 15	群馬県桐生市	No. 38	高知県四万十市
No. 16	千葉県館山市	No. 39	長崎県対馬市
No. 17	新潟県三条市	No. 40	長崎県小値賀町
No. 18	新潟県三条市	No. 41	熊本県宇城市
No. 19	新潟県三条市	No. 42	熊本県宇城市
No. 20	新潟県村上市（※）	No. 43	熊本県宇城市
No. 21	新潟県粟島浦村	No. 44	大分県大分市
No. 22	福井県大野市	No. 45	宮崎県高千穂町
No. 23	福井県越前市		

注1 新潟県三条市の No.17、18、19、和歌山県紀美野町の No.32、33、熊本県宇城市の No.41、42、43 は受入主体等が異なる交流事業となります。

注2 参加申込書は最終ページにありますので、ご利用下さい。

なお、上記で（※）がある No.6、9、20、26 は指定の参加申込書で応募して下さい。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- ^{ほっかいどう} 1 : 北海道ニセコ町 (人口 : 4, 857人 : 平成25年12月末現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR函館本線 ニセコ駅 札幌駅から約160分	※いずれも本数が少ないので注意してください
都市間バス 札幌から約170分	

(2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得たい。

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none">・自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言・地域イベント(神社祭りなど)への参加と協力・農作業体験 など

(4) 受入主体

ニセコ町

(5) 受入期間

期間指定2週間(8月中旬~下旬を予定) 詳しくはお問い合わせください。
--

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 本人負担 宿泊費 : 半額程度助成 食事代 : 本人負担
①要件	地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある学生
②応募締切り	お問合せください
③宿泊施設	町内宿泊施設(ペンションなど)を紹介予定
④食事形態	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可(本人負担)
⑤その他	汚れてもいい服装。長靴を用意してください 自転車の貸出あり

(7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 ニセコ町	担当部署 企画環境課経営企画係
(ふりがな) まえかわ さき 担当者氏名 前川 沙紀	TEL : 0136-44-2121 (内線 133) FAX : 0136-44-3500
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp	
URL : http://www.town.niseko.lg.jp/	
応募宛先 〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうとうまちょう

No.- 2 : 北海道当麻町 (人口 : 7, 087人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただけることを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

(3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22畝の癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

(4) 受入主体

当麻町

(5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続2週間で調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等 : 自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月20日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町です。
未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしてのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとてつもなく強烈な原体験となるでしょう。
意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	せと まさのり	TEL :	0166-84-2123
担当者氏名	瀬戸 正規	FAX :	0166-84-4125
E-mail :	seto-m@town.tohma.hokkaido.jp		
URL :	http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川群当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうえんべつちょう
No.- 3 : 北海道遠別町 (人口 : 2, 951人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】札幌駅から沿岸バス遠別営業所まで 約4時間
沿岸バス遠別営業所から徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

『人と人のつながりを大切に、住みたくなるまち えんべつ』をテーマに、様々な体験プログラムに参加していただき、地域の人たちとの交流や豊かな自然を楽しんでもらうことで地域の活性化を図り、魅力を知り、「遠別町」を発信してもらう。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験 : 町内にある受入れ農家、農業法人等で「お試しのお試し」のような体験 (野菜の収穫、仔牛の世話 など)
- ・ そ の 他 : 羊とのふれあい体験、遠別旬のグルメ体験 など
各体験プログラムも地域の人たちとの交流が楽しめます。

(4) 受入主体

NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊

(5) 受入期間

9月22日(月) ~ 9月28日(日)
【7日間】

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 (1日 1千円 → 例 : 2泊3日 3千円) 食事代 : 自己負担
① 要件	・ 男女問わず、都市圏に在住している大学生・大学院生。 ・ 農業をはじめとする第一次産業や地域づくりに興味があり、積極的に地域の人とコミュニケーションがとれる好奇心をもっている方。
② 応募締切り	平成26年7月末まで
③ 宿泊施設	遠別町移住交流支援センター「ぴーぷる」 ・ 参考URL : http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/
④ 食事形態	宿泊施設での自炊など
⑤ その他	この体験に参加するにあたってのご相談や詳細については、メール、電話、FAX等で下記の担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ「人と人のつながりを大切に」しており、人とのつながりを感じられる地域です。また、日本最北の水稲北限の地であり、様々な経験を多く積んでいただき、楽しんでもらいたいと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名	遠別町	担当部署	総務課 企画振興係
(ふりがな)	のむら たつひろ	TEL :	01632-7-2111 (内線) 217
担当者氏名	野村 達宏	FAX :	01632-7-3695
E-mail :	kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp		
URL :	http://www.town.embetsu.hokkaido.jp		
応募宛先	〒098-3543		
	北海道天塩郡遠別町字本町3丁目37番地 遠別町総務課企画振興係		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうびらとりちょう
No.- 4 : 北海道平取町 (人口 : 5, 4 5 3人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北海道 日高線 富川駅下車 道南バス 平取町役場前バス停 所要時間 富川駅からバスで20分

(2) 事業実施の目的等

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・田舎生活とふれあいの楽しさを感じてもらう。・外からの視点と若者の感性で、町や人の良さと悪さを発見して教えてもらいたい。・体験を通して、今後の生活において平取町のPR役を担ってもらう。・町の特産や人材の活用法などについて考えてもらう。 |
|--|

(3) 体験の内容

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・農業体験 (トマト収穫など)・アイヌ文化体験 (北海道とアイヌ民族についての歴史研修)・地域イベント体験 (義経例大祭・アイヌ民族伝統儀式)・町特有の観光産業での営業体験 |
|---|

(4) 受入主体

平取町

(5) 受入期間

8月 月上旬 ~ 8月 下旬 14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 (新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費：なし 食事代：なし (但し、一部自己負担になることがあります)
① 件	現役の大学生・大学院生で、地域おこしや町づくりに興味があり、地域の人と積極的に交流ができる元気で明るい方 (男女問わず)
② 募締切り	7月4日 (金) 必着
③ 宿泊施設	民泊 (ホームステイ)
④ 食事形態	宿泊先が提供。体験メニューの都合で、弁当など一部自己負担の場合もあり。
⑤ その他	体験作業が出来る服装を用意。

(7) 地域担当者から一言

夏の北海道は世界有数の過ごしやすい風土です。田舎の贅沢を体験し、町の人たちと楽しくふれあい、様々な新しい発見をして貴重な経験をしてもらいたいです。

(8) お問合せ先

自治体名 平取町	担当部署 まちづくり課 企画係
(ふりがな) ふなこし ふみや 担当者氏名 船越文弥	TEL : 01457-2-2222 (直通) FAX : 01457-2-2277
E-mail : kikaku2007@town.biratori.hokkaido.jp	
URL : http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/	
応募宛先 〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地	平取町役場 まちづくり課

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ほっかいどうりくべつちよう
No.- 5 : 北海道陸別町 (人口 : 2, 594人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR根室本線 池田駅下車 十勝バスふるさと銀河線池田バス停から陸別バス停
 女満別空港から車で約1時間10分

(2) 事業実施の目的等

北海道移住を目指している方が一番不安に思っていることは、北海道の寒さと雪である。日本一寒い町を全国に発信している陸別町として、その寒さを逆にとり、移住希望者の体験移住の場として移住体験の受入を行う。

(3) 体験の内容

寒さに耐えることをコンセプトに実施する移住体験ということで、期間を1月中から2月の「しばれフェスティバル」開催時期とし、移住体験実施中については、イベントの準備に参加してもらい、準備に携わる町民との交流を図る。また、人間耐寒テストに参加して冬の厳しさを知ってもらおう。
 移住希望者の冬の生活をブログ等により全国に発信してもらい、同じ不安で移住を躊躇している方達への参考としてもらう。

(4) 受入主体

陸別移住を応援する会 (任意団体)

(5) 受入期間

1月30日～2月9日 (月) 予定
 11日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：無料 食事代：参加者負担
①要件	将来、北海道への移住を目指していること。 しばれフェスティバルの人間耐寒テストに参加できること。 「人間耐寒テスト」とは、「日本一寒い町」陸別町の一大イベントである寒さを逆手にとったお祭りのメインイベント。町のボランティアスタッフが、約1ヶ月かけてつくる氷のかまくら「バルーンマンション」に一晩泊まり、無事過ごすことができれば認定証を授与されるものです。(参加料は、通常4,000円かかりますが、この体験に参加頂いた方は、同会が負担します。)
②応募締切り	未定 (陸別町HP上で後日ご案内)
③宿泊施設	陸別町ちょっと暮らし住宅
④食事形態	自炊
⑤その他	概ね40歳以下

(7) 地域担当者から一言

待っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 陸別町役場	担当部署 総務課企画財政室
(ふりがな) うけがわ よしひろ 担当者氏名 請川 義浩	TEL : 0156-27-2141 (内線:215) FAX : 0156-27-2797
E-mail : kikaku@rikubetsu.jp	
URL : http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/move/	
応募宛先 〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別東1条3丁目1番地 陸別町役場総務課企画財政室	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 6 : あおりけんかみきたぐんしちのへまち **青森県上北郡七戸町** (人口: 17, 028人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

◆ JR東北新幹線 七戸十和田駅

(2) 事業実施の目的等

毎年恒例となっている事業の一つ「七戸町かだれ塾」(小学校5・6年生対象の田舎体験イベント事業)のサポート隊を募集します。農家や参加児童の援助をしていただく一方、子供たちや地域住民との交流を楽しみ、さらに地域の良さ・温かさを実感してもらいたいと思います。そして「また行こう七戸町!」と言ってもらえるようなフレンドリーな間柄になることを目的とします。

(3) 体験の内容

7月31日	七戸十和田駅 13時集合	事前研修	※「大畑川ラフティング」「田んぼの生き物
8月 1日	かだれ塾 2014 1日目		探し」「ドラム缶風呂」「農業体験」等を
8月 2日	かだれ塾 2014 2日目		
8月 3日	かだれ塾 2014 3日目	16時頃解散	予定しています。

(4) 受入主体

七戸町かだれ田舎体験協議会

(5) 受入期間

7月31日(木)～8月3日(日)の4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	子供と接するのが好きな大学生、大学院生 8名程度
②応募締切り	7月4日(金) 必着 指定の申込用紙に必要事項を記入の上、在学証明書又は学生証の写しを添えて担当者まで郵送をお願いします。(応募多数の場合、書類審査の上決定させていただきます。)
③宿泊施設	農家民宿(子供たちと一緒に宿泊)
④食事形態	共同調理等
⑤その他	イベント期間中は協議会負担で傷害保険に加入します。 上記体験の内容に書かれている日程は、変更する場合があります。

(7) 地域担当者から一言

当協議会は、グリーン・ツーリズム事業に取り組んでおり、毎年夏休み期間に小学校高学年を対象とした「かだれ塾」を開催しています。ホームページには過去の「かだれ塾」の様子をアップしていますので、楽しそうな子供たちの様子をぜひご覧ください。会員の農家さんは、普通の旅では知り合うことができない、温かい心の持ち主ばかりです。子供たちと一緒に見守りながら、楽しい夏休みの思い出を作りませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	青森県七戸町	担当部署	七戸町農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会事務局
(ふりがな)	とりやべ くみこ	TEL	: 0176-68-2116 (直通)
担当者氏名	鳥谷部 久美子	FAX	: 0176-68-2804
E-mail	: kumiko-toriyabe@town.shichinohe.lg.jp		
URL	: http://www.kadaretenma.com		
応募宛先	〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上131-4 七戸町役場農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会 事務局		

参加申込書

「七戸町かだれ塾2014・サポート隊」に以下のとおり参加申込みいたします。

氏名	(ふりがな)			写真添付 (4cm×3cm)			
生年月日	西暦	年	月		日	年齢	歳
所属大学等							
住所	〒						
電話番号	(自宅) ----- (携帯)						
メールアドレス							
緊急連絡先	ご家族氏名	(ふりがな)					
	電話番号						
アレルギー (食べ物や動物等)	あり(具体的に)					なし	
ー自己PRメッセージー							
ー七戸町かだれ塾2014企画に関する意見やアイデアがありましたら、お気軽にどうぞー							

※申込締切りは、7月4日(金)必着です。在学証明書又は学生証の写しを同封の上郵送願います。

※応募多数の際は、書類審査の上決めさせて戴きます。

※緊急連絡先電話番号は、ご家族にすぐ連絡が取れる番号をご記入願います。(緊急時以外には使用いたしません)

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 : いわてけんはなまきし 岩手県花巻市

(人口 : 100,716 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

花巻駅東口より車で約 20 分
花巻空港駅より車で約 10 分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 賢治のふるさとである花巻市で、その時期にしか体験できない農作業を農家の方と一緒にすることで、農業、食生活に関する見識を深める。
- ・ 農家の方との心温まる触れ合いから、家族の一員として深く交流して「生きる力」を学び、農家・農業を肌で感じる。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験
- ・ 食事 (収穫・炊事を含む)
- ・ 農家の方との交流

(4) 受入主体

一般社団法人花巻観光協会

(5) 受入期間

3月下旬 ~ 10月下旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	体験料金/人 9,000 円 (税込)
①要件	受入人数 4 ~ 230 名
②応募締切り	-
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	夕・朝・昼食付 (1 軒に 4 名が基本)
⑤その他	体験所要時間 約 24~30 時間

(7) 地域担当者から一言

--

(8) お問い合わせ先

自治体名 花巻市役所	担当部署 商工観光部 観光課 係(グループ)
(ふりがな) さなだまさと 担当者氏名 真田正斗	TEL : 0198-24-2111 FAX : 0198-24-0259
E-mail : kanko@city.hanamaki.iwate.jp	
URL : http://www.city.hanamaki.iwate.jp/	
応募宛先 〒025-0004 岩手県花巻市葛 3-183-1 (一般社団法人花巻観光協会)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 8 : ^{いわてけんくじし}岩手県久慈市 (人口: 37,543人【H25.6.3 現在】)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

九戸 IC から車で 60 分
 東北新幹線二戸駅から車で 70 分 (新幹線リレーバス)

(2) 事業実施の目的等

- ① 地域内外の交流による地域活性化
- ② 取組の客観的評価によるサービス向上

(3) 体験の内容

- 【1】教育旅行及び野外活動受入補助
- 【2】キャンプ受入補助 (グループスタッフとして参加者と行動を共にする)

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

- 【1】5月上旬から9月下旬ごろまでのうち7日間程度
- 【2】7月30日(火)から8月3日(土)の5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 ※東京都からお越しの場合 (東北新幹線利用) 新幹線代 (往復) 30,000 円程度 バス代 (往復) 3,000 円程度
① 要件	大学生もしくは大学院生で地域の取組みを盛り上げてくれる方
② 応募締切り	原則1ヶ月前にはお問合せ下さい
③ 宿泊施設	【1】公共施設 (コテージ等) 【2】キャンプ
④ 食事形態	【1】全て提供 【2】キャンプ参加者と共に自炊
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

久慈市では、教育旅行 (修学旅行) 受入等体験型観光の推進に取り組んでいます。地域づくりの取組み等を肌で感じる事が出来ると思います。一緒に活動しながら、交流の輪を広げましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業振興部交流促進課交流促進グループ
(ふりがな) (かぬか れいか) 担当者氏名 鹿糠 玲佳	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-52-3653
E-mail: r-kanuka@city.kuji.iwate.jp	
URL: http://www.city.kuji.iwate.jp	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業振興部交流促進課 若者の地方体験交流 係	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 9 : あきたけん 秋田県 かづのし 鹿角市 (人口 : 33,880人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線 盛岡駅下車→①高速バスみちのく号 JR 花輪線 鹿角花輪駅前下車 (1時間30分)
 (東京駅から2時間40分) ②JR 花輪線 鹿角花輪駅下車 (2時間)

(2) 事業実施の目的等

首都圏及び仙台圏等の都市部の学生・社会人を対象として、本市の豊かな自然環境の中で農業や観光、地域活動の仕事を体験する機会を提供することにより、都市と農村の交流を活性化させるとともに、交流人口の拡大を図る。

(3) 体験の内容

・農作業体験 (野菜・果物の収穫など)
 ・観光施設の接客体験
 ※受入先の作業内容によりますが、おおむね日中の作業になります。

(4) 受入主体

鹿角市 (NPO法人に委託予定)

(5) 受入期間

8月上旬～10月下旬
 (この期間のうち希望する3泊4日以上)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：鹿角市までの往復交通費は自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 その他：滞在中の作業時間外に係る費用は自己負担
①要件	首都圏及び仙台圏等の都市部に在住している18歳以上の学生・社会人で、宿泊しながら作業体験が可能な方で、同性2～3名での申込みとします。なお、4名以上での参加も可能ですが、その場合、作業先及び宿泊先は分かれることがあります。
②応募締切り	実施希望日の2週間前まで。参加申し込みは指定の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、メールまたはFAXでお申し込みください。
③宿泊施設	受入先に宿泊 (ホームステイ)
④食事形態	受入先で提供 (自己負担なし)
⑤その他	・旅行保険を適用します。(自己負担なし) ・鹿角市から受入先までは観光交流課で対応します。 ・持ち物 (着替え、洗面道具、タオル類、動きやすく汚れてもいい服装、帽子、長靴、健康保険証)

(7) 地域担当者から一言

自然の中で汗を流してリフレッシュしたい、食と農を体験しながら学びたい、田舎暮らしを体験したい、こんな方にお勧めです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 秋田県 鹿角市	担当部署 産業部 観光交流課
(ふりがな) ゆざわ まさよし 担当者氏名 湯沢 真好	TEL : 0186-30-0248 (直通) FAX : 0186-30-1515
E-mail : kankou@city.kazuno.lg.jp	
URL : http://www.city.kazuno.akita.jp	
応募宛先 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4-1	鹿角市産業部観光交流課

かつのdeワーキングホリデー参加申込書

1. 参加者 代表者 の方に ○ をして 下さい	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
	氏名		生年月日	年	月	日生
	住所	〒				
	職業等		考慮事項 (アレルギー等)			
2. 希望期間	月 日から 月 日まで 泊 日					
3. 交通手段	(鹿角市までの交通手段をご記入ください)					
4. 代表者の 連絡先	T E L		携帯電話			
	F A X		Eメール			
5. その他	やってみたい作業体験等があればご記入ください。					

※参加申込書は郵送又はメール・FAXで下記まで提出してください。(※切:実施希望日の2週間前)

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用いたしません。

鹿角市産業部観光交流課 行き

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4-1

Tel 0186-30-0248 Fax 0186-30-1515 E-mail kankou@city.kazuno.lg.jp

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 0 : やまがたけんおぐにまち **山形県小国町** (人口 : 8, 6 1 9 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 米坂線 小国駅下車 (徒歩 10 分) 循環バス 役場前バス停 (徒歩 1 分)

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none">・ インターンシップに来た学生が小国町の中で様々な活動を行い、多くの人々と意見交換することにより、町のにぎわいや元気を生み出す。・ 各地で小国町の魅力を紹介し広めてくれるような、小国町のファンを増やす。・ 地域づくりにふれることで、そのやりがいや楽しさを感じてもらい、将来参画しようとする人づくりにつなげる。
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none">・ 役場業務体験・ 地域行事 (盆踊り・小正月行事など) への参加・ 森林セラピー等の観光体験・ 郷土料理、つる細工等の生活文化体験 など
--

(4) 受入主体

山形県小国町

(5) 受入期間

① 8 月上旬 7 日間程度 ② 1 月中旬 5 日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、食事代 など
①要件	地域づくりに興味があり、将来的に地域づくりに関わってみたい大学生及び大学院生
②応募締切り	① 6 月下旬頃、② 1 2 月上旬頃
③宿泊施設	町宿泊施設 など
④食事形態	自己負担 (地域で提供いただく場合もあります)
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

白い森の国“おぐに”は、東京 2 3 区がすっぽり入るほど広い、自然いっぱい人情いっぱいの町です。小国町では、森との関わりによって先人が育んできたぶな文化やマタギ文化、森の癒し効果を体感できる森林セラピー基地など、古いものと新しいものが共生しています。ぜひ、このでっかい小国町に来て、いろいろな人と出会い、いろいろなことを体験して、白い森の国のファンになってください。そして、一緒に町づくりについて考えましょう。
--

(8) お問合せ先

自治体名 山形県小国町	担当部署 総務企画課行政管理室法務行政担当
(ふりがな) えんどう あい 担当者氏名 遠藤 愛	TEL : 0238-62-2112 (直通) FAX : 0238-62-5464
E-mail : soumu@town.oguni.yamagata.jp	
URL : http://www.town.oguni.yamagata.jp/	
応募宛先 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町 2-7 0	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ゆざまち

No. - 1 1 : 山形県遊佐町

(人口 : 15, 203人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 羽越本線 遊佐駅下車 徒歩3分 (遊佐町役場)

(2) 事業実施の目的等

遊佐町での体験を通して、遊佐町を知らない若い方のフレッシュな視点で町の活性化につながるアイデアを提案していただくことを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・パプリカ、枝豆、メロン、スイカ等の収穫体験
- ・東京都豊島区で開催している産直販売の出荷準備、販売体験
- ・地域イベントへの参加
- ・観光資源めぐり
- ・体験を通して感じた、町の活性化につながるアイデアの提案 等

(4) 受入主体

- ・遊佐町
- ・遊佐ノ市実行委員会

(5) 受入期間

8月初旬～9月上旬の間で
10日～14日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費、食事代：町で負担(交流会費や外食などは一部自己負担の場合あり)
①要件	20歳以上の大学生、大学院生 2名程度
②応募締切り	平成26年6月13日(金)(応募者多数の場合 書類審査)
③宿泊施設	農家民泊、公共施設等
④食事形態	受入先で提供
⑤その他	体験内容などについて質問等ありましたら、気軽にお問合せください。

(7) 地域担当者から一言

遊佐町は鳥海山、日本海、庄内平野に囲まれた自然豊かな町です。また、この自然に育まれたおいしいお米(生活クラブ生協で取り扱うお米の6割が遊佐産です。)や、夏にしか食べることのできない天然岩ガキ、糖度抜群の砂丘メロン、生産者数日本一のパプリカなど、食の宝庫でもあります。遊佐町での暮らしをぜひ体験してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遊佐町	担当部署 企画課 まちづくり支援係
(ふりがな) どもん よしのり 担当者氏名 土門 良則	TEL : 0234-72-4524 (直通) FAX : 0234-72-3315
E-mail : iimachi@town.yuza.yamagata.jp	
URL : http://www.town.yuza.yamagata.jp/ http://yuza-brand.jp/yuzanoichi.html	
応募宛先 〒 999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 2 1 1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 2 : ^{あいつわかまつし} 福島県会津若松市 (人口 : 123, 509 人) H26. 1. 1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R磐越西線 会津若松駅
高速バス 新宿駅・東京駅～会津若松駅他
自家用車 磐越自動車道 会津若松 I C・磐梯河東 I C

(2) 事業実施の目的等

農家においては、農繁期などの負担軽減や都市住民との交流による地域活性化に繋がり、参加者においては、農家に滞在して農作業に従事することにより、農業・農村をより深く理解してもらう機会となることを目的としています。

(3) 体験の内容

「会津若松市ワーキングホリデー」
・ 水稲、野菜、果樹などの各種作業のお手伝い
・ 農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

会津若松市

(5) 受入期間

通年受け入れ

(滞在日数は2泊3日以上で農家が希望する時)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
①要件	一定期間きちんと農作業を手伝える方
②応募締切り	希望する初日の2週間前まで 「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、会津若松市農政課まで郵送、FAX、電子メールで申込み
③宿泊施設	受入農家
④食事形態	受入農家で提供
⑤その他	・ 作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。 ・ 長靴の無料レンタルも行っています。(サイズ、数量に限りがあります。)

(7) 地域担当者から一言

会津若松市はたくさんの史跡や四季折々の自然など観光資源が豊富なまちです。その一方で農業も大変盛んで、水稲、野菜、果樹など、あらゆる農作物を栽培しており、いろいろな農作業や農村体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津若松市	担当部署 農政部 農政課 農業活性化グループ
(ふりがな) たぬま のりこ 担当者氏名 田沼 紀子	TEL : 0242-39-1253 (直通) FAX : 0242-39-1440
E-mail : nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
URL : http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
応募宛先 〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 3 : ^{きたかたし} 福島県喜多方市 (人口 : 5 1, 0 3 2 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

公共交通 : JR 磐越西線・喜多方駅
自家用車 : 磐越自動車道・会津若松 IC から約 2 0 分

(2) 事業実施の目的等

都市住民が農業を手伝いながら、農村に滞在し、ありのままの農家生活を体験し、心身のリフレッシュや農業技術の習得などを図ります。

(3) 体験の内容

「喜多方ワーキング・ホリデー」
農作業を手伝うことで農家に労働力を提供し、その対価として、農村に滞在するための食事・宿泊は農家から提供を受けます。
・ 農業体験 (稲作、グリーンアスパラガスなどの野菜、果樹など)
・ 農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

通年 (主に 4 月 ~ 1 0 月)
滞在期間 : 2 泊 3 日以上 1 週間以内

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 無料
①要件	農業や農村に興味がある方 喜多方での暮らしを体験してみたい方 就農を考えている方
②応募締切り	希望する日 (初日) の 2 週間前まで
③宿泊施設	受け入れ農家
④食事形態	受け入れ農家で提供
⑤その他	農作業できる服装、着替え、洗面用具、タオルなどは持参してください。 傷害保険に加入 (自己負担) されることをおすすめします。

(7) 地域担当者から一言

喜多方市は西に飯豊連峰、東に雄国山がそびえ、豊かな自然が広がっており、さらに田園と蔵が美しい農村景観を形成しています。そんな喜多方で、ぜひ田舎暮らし体験や農業体験をしてみませんか。お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	喜多方市	担当部署	産業部観光交流課グリーン・ツーリズム推進室
(ふりがな) 担当者氏名	えんどう たかし 遠藤 崇史	TEL : 0241-24-5237 (直通) FAX : 0241-24-5284	
E-mail	kankou-gt@city.kitakata.fukushima.jp		
URL	http://www.city.kitakata.fukushima.jp		
応募宛先	〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7 2 4 4 - 2 喜多方市役所観光交流課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とちぎけんとちぎし
No.- 1 4 : 栃木県栃木市 (人口 : 1 4 6, 5 4 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

自動車 : 栃木 IC より約 10 分
公共交通機関 : 栃木駅より栃木市営「ふれあいバス」にて約 30 分 (梅沢郵便局前下車)

(2) 事業実施の目的等

寺尾の豊かな自然に親しみ、その自然に調和して営まれる農業を楽しみながら学ぶ機会を提供することで、地域の生活や伝統文化への理解と、そこに住む人々とのふれあいを深めることを目的として実施しています。

(3) 体験の内容

農作業体験
(春と秋に 1 日ずつ、農作業体験を行う。春は田植えやさつま芋の苗植え、秋は稲刈りやさつま芋の収穫などを行う。)

(4) 受入主体

寺尾まちづくり協議会・栃木市

(5) 受入期間

春 (6 月下旬の 1 日間)
秋 (9 月下旬の 1 日間)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 参加費 : 2,000 円 (昼食とお土産代含む。未就学児は無料)
①要件	特になし (児童生徒は保護者同伴)
②応募締切り	春 5 月中旬頃 秋 9 月中旬頃
③宿泊施設	
④食事形態	
⑤その他	作業できる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

小学生等小さな子どもでも参加できる内容となっています。農業体験を通じて地域の子たちとの交流も図れます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栃木市	担当部署 生涯学習課 寺尾公民館
(ふりがな) たかぎ ひでゆき 担当者氏名 高木 英幸	TEL : 0282-31-0002 (直通) FAX : 0282-30-1006
E-mail : terao-k@city.tochigi.lg.jp	
URL : http://www.terao-tochigi.sakura.ne.jp	
応募宛先 〒328-0204 栃木県栃木市梅沢町 1 1 8 3	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-15 : 群馬県桐生市 (人口: 120,204人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 桐生駅下車 徒歩10分
東武鉄道桐生線 新桐生駅 おりひめバス(市役所前下車) 15分

(2) 事業実施の目的等

人口減少社会を迎えた今日、本市においても、急速な人口減少の進行で、特に20~30代の若い世代が桐生から離れている。その対応策として都市住民との交流や移住による「まちなか居住」や「二地域居住」の推進に努めている。こうした中、「普段の地方都市」を若い視点から見て・感じて・体験してもらい、外の目線から桐生という街を評価してもらうことで、地域住民への気づきを促し、活性化につなげていくことを目的として実施する。

(3) 体験の内容

桐生市からは、織物・重伝建・環境と観光・まちづくり・文化などに関するさまざまな体験プログラムを、カフェテリア方式で提示します。
桐生市に来て何を見て・体験して・調べていきたいのかという「テーマ」を各自で独自に設定していただき、体験プログラムの中から自由に組み合わせてもらいます。
最後に、各自で設定したテーマに沿って、提言をしてください。
※体験プログラムの設定については、事務局からアドバイスさせていただくこともあります。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

桐生市地域づくり交流事業実行委員会	A: 8月15日(金)~8月下旬 2週間程度の予定 ※相談のうえ、日程を決定。なお、期間中、お休み期間を入れさせていただくこともあります。 B: 上記期間以外で随時 2泊3日以上(要相談)
-------------------	--

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: A 自己負担なし B 原則自己負担 食事代: A 原則自己負担なし B 原則自己負担
①要件	A: 20歳以上の大学生及び大学院生。市街地と田舎が共存する「まちなか」である桐生市に興味があり、自然・伝統・文化を継承しながら、地域の活性化を図るとともに、I・J・Uターンの促進に関心のある人。 B: 18歳以上の学生・社会人。桐生市に係わることを研究テーマとする人。体験内容は上記(3)から選択又は自分で体験場所等決めてください。(相談可)
②応募締切り	A: 6月13日(金)必着 別途の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送にて申し込みをお願いします。 B: 随時 別途の募集参加申込書(写真添付不要)に必要事項を記載のうえ、郵送かメールにて担当者まで申し込みをお願いします。
③宿泊施設	お試し暮らし住宅、民泊、簡易宿泊施設など
④食事形態	A: 朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意。昼食は原則実施主体で用意。 B: 原則自己負担。ただし、受け入れ先によって用意もあり。
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 Aのみ体験に入る前に東京でオリエンテーションを実施予定。 A: 国内旅行保険には実行委員会加入 B: 保険については自己負担

(7) 地域担当者から一言

桐生という地方都市の持っている素材をぜひ外の視点から評価し、これからのまちづくりのための提言をお願いします。また、一過性の受け入れで終わらせないため、より一層桐生との交流を深めてもらうため、「地域づくり交流事業(B)」として恒常的に若者の受け入れを行っております。是非一度、お越しいただき、桐生を体感してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな)	むかいだ さえ	TEL:	0277-46-1111(内線367)
担当者氏名	向田 彩恵	FAX:	0277-40-1283
E-mail:	kanko@city.kiryu.lg.jp		
URL:	http://www.city.kiryu.gunma.jp		
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号 桐生市観光交流課内 桐生市地域づくり交流事業実行委員会 宛		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-16 : ちばけんたてやまし **千葉県館山市** (人口 : 49,171 人) ※H26.1.1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

○JR内房線 館山駅
○高速バス 館山駅

(2) 事業実施の目的等

都心からほど近い南房総・館山で様々な地域資源を活かした体験型観光の推進

(3) 体験の内容

○農業・酪農体験	○伝統工芸・クラフト体験
○漁業体験	○自然・歴史体験
○マリンスポーツ・アウトドア体験	など、約40プログラム

(4) 受入主体

館山体験交流協会
 HP : <http://taiken.tateyamacity.com/>
 TEL : 0470-22-2530

(5) 受入期間

※通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 8,500 円～ ※1泊2食 食事代 : 自己負担 ※体験料金 : 自己負担
①要件	体験活動を通して、地域の人々や自然との触れ合いを求める方。
②応募締切り	通年のため、特になし。 ※利用希望日の1カ月前までにご相談ください。
③宿泊施設	ペンション、民宿、旅館、ホテル
④食事形態	宿泊施設
⑤その他	体験&宿泊のコーディネートをお手伝いいたします。詳しくは、HPから!

(7) 地域担当者から一言

南房総・館山では、さまざまな地域資源を活かした体験プログラムを多数ご用意しております。体験に関するお問い合わせ・ご相談は、館山体験交流協会へぜひ!

(8) お問い合わせ先

自治体名 千葉県館山市	担当部署 経済観光部 商工観光課 観光企画係
(ふりがな) しぶたに ひろし 担当者氏名 渋谷 裕	TEL : 0470-22-3346 (直通) FAX : 0470-22-2546
E-mail : shoukan@city.tateyama.chiba.jp	
URL : http://www.city.tateyama.chiba.jp/	
応募宛先 〒294-0036 千葉県館山市館山1564-1 “渚の駅”たてやま内 館山体験交流協会	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 7 : にいがたけんさんじょうし
新潟県三条市 (人口 : 102,489 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線 燕三条駅乗換 弥彦線 北三条駅下車

(2) 事業実施の目的等

・鍛冶をルーツにしたものづくりのまちを、若手クリエイター等ものづくりに将来携わる若者に体感してほしい。

(3) 体験の内容

(ニーズに合った内容をご提案します)

- ・鍛冶体験
- ・町家で創作活動
- ・ツアー形式の工場見学 (鍛冶の工房から大量生産まで)
- ・朝市の見学や小路のまちあるき
- ・地場のものづくり企業から直接話が聞ける意見交換交流会の開催

(4) 受入主体

三条市

(5) 受入期間

7月下旬~10月上旬予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①要件	美術、芸術関連の学科、若手クリエイター等
②応募締切り	随時
③宿泊施設	市施設、ホテル等
④食事形態	食費自己負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

芸術系の学生や若手クリエイター向けに事前に資料を作成し、充実したものづくりのまち体験ツアー一泊を提案します。現場と出会い、そこで働く人と対話を通じてものづくりのまちをもっと深く知ることができます。昨年実績 : 芸術系大学 教授以下 27 名

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三条市	担当部署 経済部 地域経営課 地域振興係
(ふりがな) なかむら けんた 担当者氏名 中村 健太	TEL : 0256-34-5511 (内線 403) FAX : 0256-36-5111
E-mail : chiikikeiei@city.sanjo.niigata.jp	
URL : http://www.city.sanjo.niigata.jp/	
応募宛先 〒 955-8686 新潟県三条市旭町 2-3-1 経済部地域経営課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

にいがたけんさんじょうし
No.- 1 8 : 新潟県三条市

(人口 : 102,489 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条(約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換 弥彦線 北三条駅下車
* 三条市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三条市下田地域において開催される稲刈り体験をはじめとする体験プログラム(都内小学生対象)を企画・運営することにより、地域の魅力を引き出すプロセスに携わってもらう。また、その魅力を子ども達に伝える方法について当市職員、地域住民との意見交換を行う。子ども達と地域住民との触れ合いが生まれる場を通じ、地域を越えて人が繋がる魅力を感じてもらう。

(3) 体験の内容

○体験プログラムの企画・運営スタッフ
・小学生のアテンド補助
・体験プログラム補助
・宿泊補助

(4) 受入主体

三条市

(5) 受入期間

9月中旬～10月上旬

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(三条市内は市有バスで移動します。) 宿泊費：自己負担(体験プログラム当日は補助) 食事代：自己負担
①要件	・小学生と関わるのが好きな方 ・地域の魅力を発信することに関心がある方
②応募締切り	6月30日
③宿泊施設	下田地域の宿泊施設
④食事形態	朝・夕を提供(昼食は各自)
⑤その他	天候によって稲刈り体験等、屋外での体験ができない場合有。

(7) 地域担当者から一言

“ものづくりのまち”として知られている三条市ですが、三条市の下田地域は自然と歴史が息づく魅力ある地域です。その魅力を小学生に伝えるというプロセスを通して感じてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県三条市	担当部署 経済部営業戦略室営業戦略係
(ふりがな) たきざわ ゆうき 担当者氏名 滝沢 祐貴	TEL : 0256-34-5511 (内線 482) FAX : 0256-36-5111
E-mail : eigyo@city.sanjo.niigata.jp	
URL : http://www.city.sanjo.niigata.jp	
応募宛先 〒955 - 8686 新潟県三条市 2-3-1 三条市役所経済部営業戦略室	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

にいがたけんさんじょうし
No.- 19 : 新潟県三条市

(人口 : 102,489 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京～燕三条(約2時間) 上越新幹線 燕三条駅乗換、弥彦線 北三条駅下車
* 三条市役所までの道順

(2) 事業実施の目的等

三条市が企画する「三条のものづくり体感ツアー」並びにそのPRイベントを自ら体験し、当市の職人と意見交換しながらともに運営することにより、当市のものづくりの魅力に深く触れていただく。さらにその魅力の表現方法について、職人や市との意見交換を行う。
* 当市は鍛冶をルーツにした多くの町工場があるまちであり、様々な工場の見学・各種体験ができる「工場の祭典」というイベントを行っています。この際、職人のものづくりにかける気持ちを語っていただきながら工場見学を行う「ものづくり体感ツアー」を実施します。
また、PRイベントを都内「IID 世田谷ものづくり学校」で開催する予定です。

(3) 体験の内容

「ものづくり体感ツアー」スタッフ
三条製品の品質や、鍛冶のルーツ等歴史に触れながら、ツアーのアテンド・ガイド補助を行っていただきます。イベントにおいても、運営や情報発信等にご協力いただきます。
※ツアー・イベントどちらかのみ参加も可能

(4) 受入主体

三条シティセールス事業実行委員会
(事務局 : 三条市営業戦略室)

(5) 受入期間

8月～ 10月
期間内、2日間で3回程度(日にち未定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 都内よりツアーバスに同乗いただきます 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
① 要件	ものづくりに関心のある方、デザイン関係に携わっておられる方など
② 応募締切り	7月31日
③ 宿泊施設	市内宿泊施設(イベントの際は日帰り)
④ 食事形態	三条産の食材を使った食事
⑤ その他	三条の特色あるノベルティグッズをプレゼントします。

(7) 地域担当者から一言

三条市はものづくりで有名な「燕三条地域」にあります。鍛冶職人が残る特徴的な地域であり、グッドデザイン賞をいくつも受賞するなど匠の技は時代の先端を捉え、日々進化しています。奥が深く、実は身近でもある三条市のものづくりを、一緒にカッコよく発信しませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	新潟県三条市	担当部署	経済部 営業戦略室 営業戦略係
(ふりがな)	やなぎたゆきえ	TEL :	0256-34-5511 (内線 735)
担当者氏名	柳田 友紀恵	FAX :	0256-36-5111
E-mail :	eigyo@city.sanjo.niigata.jp		
URL :	http://www.city.sanjo.niigata.jp		
応募宛先	〒 955-8686		
	新潟県三条市旭町二丁目 3-1 三条シティセールス事業実行委員会		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

にいがたけんむらかみし
No.-20 : 新潟県村上市 (人口 : 65,518人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線・JR羽越本線 府屋駅下車 村上市山北支所 (府屋駅から徒歩5分)

(2) 事業実施の目的等

・伝統的な焼畑農法(山焼き)を後世へ残すため、広く体験希望者を募集し、体験をとおして焼畑農法を理解していただき、伝承方法や活用方法など若い方のアイデア等もいただきたい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験(なぎ野、山焼き)
- ・焼畑農法を活かした地域づくりなどへの提言

(4) 受入主体

村上市(山北支所地域振興課自治振興室)

(5) 受入期間

5月~8月 各月1回(1泊2日)
(期日は現時点で未定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担(一泊食事なし4,000円程度の宿泊施設の斡旋可能) 食事代：自己負担
①要件	農作業や人とのふれあいが好きで、田舎に興味がある人
②応募締切り	4月30日(水)必着 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送(FAX、メール)をお願いします。
③宿泊施設	山北ゆり花温泉 交流の館「八幡」(希望により手配します) その他民宿もあります。
④食事形態	各自手配(朝、夕食は宿泊先での食事可)
⑤その他	農作業ができる服装を用意してください。(長靴は必須)

(7) 地域担当者から一言

決して楽な作業ではありませんが、苦労した分深紅に実った赤カブの収穫時には充実感が味わえます。日本でもわずかな地域でしか実施していない焼畑農法を体験、そして後世に伝えるお手伝いをしてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 村上市	担当部署 山北支所地域振興課自治振興室
(ふりがな) さいとう ちえ 担当者氏名 齋藤 知恵	TEL : 0254-77-3111 (直通) FAX : 0254-77-2217
E-mail : s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp	
URL : http://www.city.murakami.niigata.jp/sanpokulife/index.html	
応募宛先 〒959-3993 新潟県村上市府屋232 村上市山北支所地域振興課自治振興室	

別 紙

要 提 出



4 月 30 日（水）必着です

焼畑農法体験活動参加申込書

申込者氏名 _____ 年齢 _____ 性別 _____

住所 _____

電話 _____

【活動参加調書】（該当する欄に○印をつけてください。）

期日	内 容	参 加	不参加	備考
5 月	焼畑予定地の整理（草刈等）			
6 月	焼畑予定地の整理（枝起こし等）			
7 月	焼畑予定地の整理（枝組等）			
8 月	焼畑実施（防火帯整備、山焼き等）			

※日程が未確定のため、詳細日程は参加決定者に改めてご案内させていただきます。

提出先

〒959-3993

新潟県村上市府屋 232

村上市山北支所地域振興課自治振興室

担当 齋藤 知恵

TEL : 0254-77-3111

FAX : 0254-77-2217

MAIL : s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-2 1 : にいがたけんあわしまうらむら
新潟県粟島浦村 (人口 : 338 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅～(タクシー(乗合タクシー)～岩船港 15分 岩船港～(粟島汽船)～粟島港 高速船 55分 (普通船 90分)
--

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 都会の若者に、粟島の暮らしを体験してほしい。 ・ 都会の若者の、「粟島の暮らし」についての意見が聞きたい。 ・ 将来的には、可能であれば、都会と粟島の橋渡しの役割を担ってほしい。 (橋渡し＝家族・親戚・友人・知人に紹介、遊びに来てもらう、一緒に遊びに来る、など)
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 島の主産業である民宿・食堂のお手伝い(※忙しいときは、家業の手伝いのみになってしまう日もあります)、その他時間がある場合は、島のばばとの農作業体験、漁師さんと漁業体験など ・ 地域行事の参加(七夕：8月7日、盆踊り：8月13～14日)
--

(4) 受入主体

(5) 受入期間

粟島浦村	7月下旬～8月中旬 のうちの14日間程度を予定
------	----------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：船賃 3,660 円～7,380 円その他、岩船港までの交通費 (普通船(片道) 1,830 円、高速船(片道) 3,690 円) 宿泊費：0 円(民宿等にホームステイ) 食事代：0 円
①要件	都市に暮らす若者
②応募締切り	7月中旬ころ(参加希望者とは、順次、連絡を取っていきます)
③宿泊施設	ホームステイ
④食事形態	受入先にて提供していただきます。
⑤その他	食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

<p>粟島は、お米以外の野菜を自給自足。魚も野菜も旬のものを食べるからうまい！都会の暮らしとは大違いな粟島の暮らし。そんな島を民宿や食堂の手伝いを通して体感してもらいます。夏の島は観光のお客さんで大わらわ！時には家の手伝いがすごく忙しいことも。田舎だからこそその人情や温かさ、都市では失われてしまったものを見つけることができます。ぜひ、体で感じて、感じたままを伝えてください。多くの方の問い合わせ、お待ちしております。</p>

(8) お問合せ先

自治体名 粟島浦村役場	担当部署 総務課
(ふりがな) わたなべ たいすけ 担当者氏名 渡辺 泰介	TEL : 0254-55-2111 (直通) FAX : 0254-55-2159
E-mail : project@vill.awashimaura.lg.jp	
URL : http://www.vill.awashimaura.lg.jp/	
応募宛先 〒958-0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくいけんおおのし
No.- 2 2 : 福井県大野市 (人口 : 35,698 人 (H26.1.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 福井駅下車 → JR越美北線 越前大野駅下車 (60分)

(2) 事業実施の目的等

農村において、地域の家庭（農家）に滞在しながら、従事されているお仕事をお手伝い（ボランティア）していただき、田舎暮らしや様々な職業に興味を持ち、理解を深めていただくことを目標の一つとしています。

(3) 体験の内容

『ふるさとワークステイ』
特別な体験内容はありません。普段の農家の生活の中で必要なお手伝いをしていただきます。例えば、農作物の収穫や地域イベントのお手伝い。冬には雪かきのお手伝いもあります。お手伝いの内容は滞在する農家によって異なります。
例) 特産の里芋やネギの植え付け・収穫・出荷のお手伝い、田植え作業の補助、地域のお祭りのお手伝い、環境教育補助、古民家の清掃、作業小屋建築、雪かき

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
(ノーム自然環境教育事務所内)

(5) 受入期間

時期：通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1人1泊2,000円～ 食事代：自己負担
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい日の2週間前まで
③宿泊施設	農家若しくは研修施設
④食事形態	宿泊農家先での食事か、研修施設での自炊
⑤その他	体験メニューに応じて、体験料が別途かかります

(7) 地域担当者から一言

一年を通じて、大野の自然や人の魅力をたっぷり活かした体験メニューを用意しています。受入農家さんと仲良くなって、この事業とは別に、それぞれで交流を進められている参加者もおおり、大変好評をいただいています。体験内容や滞在期間は相談に応じます。意欲をもって来られる方であれば、未経験者大歓迎です。ぜひ参加いただき、大野の自然と人情に触れてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県大野市	担当部署 一般財団法人 越前おおの農林楽舎
(ふりがな) まつもと たかし 担当者氏名 松本 高志	TEL : 0779-66-1141 (直通) FAX : 0779-66-1142
E-mail : info@ono-gakusya.jp	
URL : http://www.ono-gakusya.jp/workstay/	
応募宛先 〒912-0082 福井県大野市大和町3番7号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくいけんえちぜんし

No.-23 : 福井県越前市

(人口 : 83,945 人 (H26.1.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 武生駅下車 (東京より約3時間20分)

(2) 事業実施の目的等

「源氏物語」の作者、紫式部がただ一度都を離れて暮らした地、越前市。豊かな自然や歴史に恵まれ、1500年の伝統を誇る「越前和紙」や、刃物産地として全国で最初に伝統的工芸品の指定を受けた「越前打刃物」、また本年伝統工芸品に指定された「越前筆筥」に代表される伝統産業など、モノづくりが盛んなまちとしても知られています。また近年は、特産品である「しらやま西瓜」や越前市三大グルメ「ボルガライス・越前おろしそば、武生駅前中華そば」など、食の人気も急上昇しています。

越前市では、魅力あふれる農村地域で、農業体験や伝統産業体験、農家民宿などを通して都市部の人々と交流することにより、地域の活性化を目指しています。

(3) 体験の内容

「本格的に農業に取り組んでみたい!」「田舎暮らしを体験しながら農作業のお手伝いをしてみたい!」などなどご希望に合わせたプログラムをご用意します!

●プログラム その① お百姓さんの助っ人

越前市で活躍しているお百姓さんの助っ人をしてみませんか?農業に関心があって、本格的に農作業に浸ろう!というタフなあなたに最適なプログラムです。

●プログラム その② 地域のイベントお手伝い

豊かな自然の中で開催されるイベントのお手伝いをしませんか?里地里山チャレンジ隊(都会の子どもと越前市内の子どもの交流・8月)や冬のいろりばた(2月)などのイベント運営をお手伝いしてみたい好奇心旺盛なあなたにおススメのプログラムです。

(4) 受入主体

ロハス越前 (TEL/FAX. 0778-43-0879)
(E-mail info@lohas-echizen.org)

(5) 受入期間

通年(農作業やイベントの時期や内容によりま
すので、一度お電話ください。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料(布団代のみ1回の滞在につき2,000円負担) 食事代：朝、夕食は無料 昼食は1食500円
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	市内の農家民宿
④食事形態	宿泊先での食事
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

毎年、多くの大学生が越前市に訪れ、農業体験などを通じて地元の人々と交流を深めています。越前市の里地里山には、都会にはない農村の宝をいたるところで見つけることができます。越前市ならではの魅力を地元の人と一緒に探し、共有する楽しさを直に感じてみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 越前市役所	担当部署 産業環境部 農林振興課 振興グループ
(ふりがな) きのした なおこ 担当者氏名 木下 直子	TEL : 0778-22-3009 (直通) FAX : 0778-23-9907
E-mail : nousei@city.echizen.lg.jp	
URL : http://lohas-echizen.org/ (ロハス越前ホームページ)	
応募宛先 〒915-0242 福井県越前市粟田部町 9-1-9 越前市今立ふれあいプラザ内 ロハス越前	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-24 : ふくいけんさかいし
福井県坂井市 (人口 : 93,956人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 丸岡駅 徒歩 10分

(2) 事業実施の目的等

しだれ桜と大きな木製二連水車を起爆剤に地域の賑わいを追及している人情味あふれる中山間地。廃校となった小学校が新たに生まれ変わる年、試行錯誤しながら邁進している竹田地区で地域活性化の一翼を担ってほしい。

(3) 体験の内容

- ・ 農林業体験 (山林の下草刈り、自然薯の植え付け準備等)
- ・ 地域のイベント (しだれ桜まつり)
- ・ 地域の食材を活用した食づくりのお手伝い

(4) 受入主体

一般社団法人竹田文化共栄会

(5) 受入期間

4月12日(土) ~ 4月29日(火)
そのうち 3~5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : なし 食事代 : なし
①要件	大学生以上で田舎ぐらしやコミュニティビジネスに興味関心がある人
②応募締切り	4月10日(木) まずはお電話ください
③宿泊施設	囲炉裏のある農家民宿
④食事形態	民宿の女将といっしょに自炊(食材提供)
⑤その他	作業着、雨合羽、長靴を準備してください

(7) 地域担当者から一言

人口400人弱の竹田地区、しだれ桜の開花期間は7万人を超える見物客が訪れる。そんな山里で新たな自分を見つけませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県坂井市	担当部署 総務部 企画情報課 企画係
(ふりがな) みかみ ひろし 担当者氏名 三上 寛司	TEL : 0776-50-3013 (直通) FAX : 0776-66-4837
E-mail : mikami-32@city.fukui-sakai.lg.jp	
URL : http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/	
応募宛先 〒 910-0204 福井県坂井市丸岡町山竹田119-3 竹田公民館	Tel・Fax 0776-66-4825

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ふくいけんわかさちょう
No.-25 : 福井県若狭町 (人口 : 16,086人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小浜線 上中駅下車
JRバス若江線 上中駅下車

(2) 事業実施の目的等

都市からの若者の新規就農・定住を促進し、集落を活性化させることを目標としています。

(3) 体験の内容

- ・ インターンシップ事業 (短期間の農業就業体験)
- ・ 体験学習事業 (農業体験)

(4) 受入主体

農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎

(5) 受入期間

基本的に通年
(時期や日数は応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 ※体験学習事業の上記の費用は、全て自己負担
①要件	やる気と元気がある若者
②応募締切り	申込書・方法等があるので、その都度お問い合わせ願います。
③宿泊施設	公共施設 (研修棟での共同生活)
④食事形態	公共施設内で共同自炊
⑤その他	農作業可能な服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

とにかく農業をしたい！そんなあなたにお勧めな町です。
やる気と元気がある若者の力をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 若狭町	担当部署 産業課 特産振興販売室
(ふりがな) はらだ だいすけ 担当者氏名 原田 太輔	TEL : 0770-45-9102 (直通) FAX : 0770-45-9119
E-mail : sangyo@town.fukui-wakasa.lg.jp	
URL : http://nouson-kaminaka.com/	
応募宛先 〒919-1522 福井県三方上中郡若狭町末野 (若狭町農村総合公園) 農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

やまなしけんきたつるぐんこすげむら
No.-26 : 山梨県北都留郡小菅村

(人口 : 738人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 青梅線 奥多摩駅下車 西東京バス 棚沢橋停留所

(2) 事業実施の目的等

- ・ 学生と村民をつなげることで、学生にも村民にも生き生きとした時間を過ごしてほしい。
- ・ より多くの大学とのつながりを作り、多様な学生に村で活動してほしい。
- ・ 若い人に小菅村の魅力を知ってほしい。

(3) 体験の内容

- ・ 三ヶ村箭弓神社祭典への参加
- ・ 源流体験教室インストラクター体験
- ・ その他地域行事や農作業への参加
(必要・要望に応じて追加・変更)

(4) 受入主体

NPO法人多摩源流こすげ

(5) 受入期間

8月1日(金)～8月12日(火)
12日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(新宿から電車とバスで片道約2000円) 宿泊費：不要、食事代：各自
①要件	・ 源流地域の地域づくりに興味があり、積極的に取組める人 ・ 人とかかわることが好きな人
②応募締切り	締め切り：6月30日(月)必着 別添の参加申込書および小論文に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送をお願いいたします。
③宿泊施設	受入側で準備中
④食事形態	基本的に宿泊施設で自炊。
⑤その他	虫よけ・防寒のため、長袖・長ズボンを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

小菅村は3つの峠に囲まれた小さな谷合の村です。陽気で働き者の村民のみなさんや、村に移住してきた若者たちと一緒に汗を流して、村であなたの「居場所」を作りませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小菅村	担当部署 源流振興課
(ふりがな) きのした りょう 担当者氏名 木下 亮	TEL : 0428-87-0111 FAX : 0428-87-0933
E-mail : r-kinoshita@vill.kosuge.yamanashi.jp	
URL : http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp	
応募宛先 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村1911 多摩川源流大学内	

参加申込書

平成 26 年 4 月 18 日

ふりがな		写真を貼る位置 縦 4cm×横 3cm の写 真を使用してくだ さい。
氏名		
昭和 年 月 日生 (満 歳) 性別 男 女		
ふりがな		TEL.
現住所 〒 ー		携帯
		FAX.
ふりがな		TEL.
連絡先 〒 ー (現住所以外に連絡を必要とする場合のみ記 入)		
		FAX.

年	月	学歴・職歴 (各別にまとめて書く)

自己PR

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。

○各テーマごとに小論文を作成してください。

・なぜ「若者と地方の交流事業」に参加しようと思ったのですか？

・インターン期間中に小菅村であなたのやりたい事は何ですか？

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ぎふけんみたけちょう
No.- 27 : 岐阜県御嵩町

(人口 : 18,967 人) H26. 2. 1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

御嵩町役場まで
名鉄広見線御嵩駅下車 徒歩約 10 分

(2) 事業実施の目的等

町域の約 60% を山林が占め、希少動植物が生息する貴重な自然環境を有する里山のまちで、農業体験や里山保全体験などの交流を通じて、地域資源の発掘やまちの活性化を図ることを目的としています。

(3) 体験の内容

○農業体験、里山保全体験
○各種イベント体験やお手伝い(地域交流)
○体験等を通じて、まちへの政策提案発表会の実施 など

(4) 受入主体

御嵩町

(5) 受入期間

概ね 7 月から 11 月ごろまでの約 1 週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担(宿泊先により異なります。0 円の場合あり。) 食事代：自己負担
① 要件	地域づくりに興味がある大学生・大学院生 ※公共交通機関(名鉄広見線)を利用してご来町ください。
② 応募締切り	希望日の概ね 1 か月前までに申込みください。
③ 宿泊施設	町内宿泊施設、公共施設等を利用予定
④ 食事形態	宿泊施設で提供、公共施設で自炊 など
⑤ その他	作業ができる服装をご用意ください。詳しくはメール等でご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

地域交流を通じて、御嵩町のファンになってくれる方、大歓迎です。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御嵩町	担当部署 総務部 まちづくり課 まちづくり推進係
(ふりがな) おぐら たつぶ 担当者氏名 小倉 辰信	TEL : 0574-67-2111 (内線 2235) FAX : 0574-67-1999
E-mail : matidukuri@town.mitake.lg.jp	
URL : http://www.town.mitake.gifu.jp/index.cfm	
応募宛先	〒505-0192 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 1239 番地 1

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-28 : しがけんりっとうし
滋賀県栗東市 (人口 : 66,875人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

栗東市役所まで
JR草津線 手原駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

- ・若者と地域住民との交流、意見交換を通して、自分たちのまちについて見直す機会を作り、今後のまちづくりの進め方等を検討する上での一助とする。
- ・若者の視点からの新鮮な意見が加わることにより、会議等の活性化を図る。

(3) 体験の内容

- ・地域のまちづくり活動や会議等に参加し、地域住民とともにプロジェクトの企画、準備および実践を行う。

(4) 受入主体

栗東市

(5) 受入期間

要相談 (地域のイベント時期等を考慮し受入)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	地域のまちづくりに興味があり、積極的に取り組める方。
②応募締切り	随時
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	自己負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

栗東市では、百年先の『風格都市栗東』の実現を目指し、市民と行政の協働による景観づくりなど、地域の魅力や活力、にぎわいを高める取り組みを進めています。この取り組みに賛同し、意欲的に活動される学生をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栗東市	担当部署 建設部 都市計画課 景観まちづくり係
(ふりがな) ちはら まさふみ 担当者氏名 地原 将史	TEL : 077-551-0116 (直通) FAX : 077-552-7000
E-mail : toshikeikaku@city.ritto.lg.jp	
URL : http://www.city.ritto.shiga.jp/	
応募宛先 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号 栗東市役所 都市計画課 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

きょうとふあやべし

No.-29 : 京都府綾部市 (人口 : 34,437 人) 推計人口 (平成 26 年 1 月 1 日現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、26分間で「かじや」バス停にて下車(綾部市里山交流研修センターは「かじや」バス停すぐ)

(2) 事業実施の目的等

【あやべ里山サポーターになろう！】

綾部市里山交流研修センターは過疎化に伴い閉校となった小学校を再活用し地域振興に役立てている。センターの指定管理者「里山ねっと・あやべ」と綾部市では「綾部里山交流大学」を実施して都市農村交流と人材育成に役立てている。近隣の「京都丹州木材市場」で10月に地元材普及のため「京都丹州もくもくフェスタ」が開催されるのを機に、フェスタの見学や里山での道作り、竹炭焼き作業、共同調理などに取り組み、秋の里地里山でよい汗を流していただきたい。

(3) 体験の内容

- ・京都丹州木材市場の「京都丹州もくもくフェスタ」を見学し地元木材の価値を楽しく学ぼう
- ・山に木の杭の階段をつくり歩きやすい山道を作ろう
- ・竹を切り炭化させ田畑に入れて「竹の炭素循環」の仕組みを作ろう
- ・竹炭を入れた畑でできたさつま芋を収穫し焼き芋を楽しもう
- ・薪や炭で調理するアウトドア料理で里山の燃料を使う意義を実感しよう

(4) 受入主体

綾部里山交流大学
(事務局=里山ねっと・あやべ)

(5) 受入期間

2014年10月11日(土)~10月13日(月)3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 体験料：自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2014年8月31日(日)
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊もしくは調理提供いずれも可能
⑤その他	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、人口減少に悩む綾部の再生を担うサポーターになってください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 綾部市	担当部署 定住交流部 観光交流課
(ふりがな) よしだ さき 担当者氏名 吉田 紗希	TEL : 0773-42-3280 (内線) 315 FAX : 0773-42-4406
E-mail : daigaku@satoyama.or.jp	
URL : http://ayabesatoyamacollege.net	
応募宛先 〒 623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9里山ねっと・あやべ内 綾部里山交流大学事務局 電話 : 0773-47-0040 FAX : 0773-47-0084	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-30 : ならけんかわかみむら
奈良県川上村

(人口 : 1643人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線大和上市駅下車 奈良交通バス「湯盛温泉杉の湯」行 川上村役場前下車
所要時間 : 大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的等

山村での生活体験がない都市部の若者に体験機会を提供し、外部から見た川上村の取り組みについて提案・提言をしていただき、「水源地の村づくり」に活かしていきたい。
また、事業実施後も川上村の応援団として村づくりに関わってもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・吉野林業について
- ・地域のイベントへの参加、手伝い(盆踊り等)
- ・達っちゃんクラブ 臨時スタッフ(自然体験型イベントの準備・実施)等

※体験内容はできる限り参加者の意向に沿って組み立てます。

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月初旬～中旬 14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 費用相当分の補助有り
①要件	地域づくりに興味のある方
②応募締切り	7月11日(金)(定員を超えた場合は審査を行います) 指定の参加申込書及び小論文(HP参照)を下記応募先まで郵送して下さい。
③宿泊施設	村宿泊施設 (共同生活)
④食事形態	自己負担(自炊、弁当など)
⑤その他	川上村地域づくりインターンHPをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせ下さい。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、吉野川・紀の川の源流にあたる水源地の村です。過疎地域における行政の取り組みや地域づくり、林業や環境教育などに興味がある方はぜひご参加ください。私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名	川上村	担当部署	水源地の村づくり課
(ふりがな)	すぎむら よしたか	TEL : 0746-52-0111	(内線) 21
担当者氏名	杉村 佳隆	FAX : 0746-52-0345	
E-mail	: suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp		
URL	: http://www.vill.kawakami.nara.jp/intern/ 川上村地域づくりインターンHP http://www.vill.kawakami.nara.jp/ 川上村HP		
応募宛先	〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335-7 川上村役場水源地の村づくり課		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

わかやまけん きみのちょう
No.- 3 1 : 和歌山県紀美野町 (セミナーハウス未来塾) (人口 : 10,071 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティバスで紀美野町国吉診療所前へ 海南駅から登山口まで約 30 分 登山口から国吉診療所前まで 26 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
 里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように
 一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の仕事全般 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全
 ③自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供
 ⑤農村、里山の情報発信 ⑥エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾
<http://www.kimino.jp/miraijuku/>

(5) 受入期間

7 月 19 日 (土) ~ 8 月 31 日 (日)
 44 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態欄を参照
①要件	○仲間と話し合ってアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きの人 (できれば運転免許を持っている人)
②応募締切り	滞在開始希望日の 3 週間前まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中はまかない料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可。)
⑤その他	2 週間 (最低でも 10 日) 以上の滞在者を希望します。

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と
 自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名	紀美野町	担当部署	紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな)	ひらいつぐじ	TEL :	073-498-0521 (直通)
担当者氏名	平井二嗣	FAX :	073-498-0531
E-mail : miraijuku@kimino.jp			
URL : http://www.kimino.jp/miraijuku/index.html			
応募宛先	〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田 25 番地 紀美野町セミナーハウス未来塾 (平井宛)		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

わかやまけん きみのちょう

No.-3 2 : 和歌山県紀美野町 (きみの定住を支援する会) (人口: 10,071 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティーバスで神野市場下車
JR 海南駅から登山口まで約 30 分、登山口から神野市場まで 20 分

(2) 事業実施の目的等

豊かな自然に囲まれ、昔ながらの山の中の農村として暮らしを営んできた地域で、用意されたプログラムを体験するのではなく、参加者の「やりたいこと」をお聞きして地元の普段の生活、仕事に入り込んで体験ができる企画です。「農作業」「農家民泊、宿泊施設」「地域イベント」「カフェ」等、地域のお手伝いを通じて「ほんまもの田舎暮らし」を体験してみたい方を募集します

(3) 体験の内容

農作業のお手伝い、農家民泊のお手伝い、緑花木の手入れ、地域イベントのお手伝いなど
ご希望の体験内容・参加日程をお聞きして、その時期に実施できる体験プログラムを調整します。
ただし、時期によっては実施できない作業もございますので、詳しくはお問い合わせください。

(4) 受入主体

特定非営利活動法人
きみの定住を支援する会

(5) 受入期間

4月1日(火)～3月31日(火)
1年の内の希望期間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 (きみの定住を支援する会で用意します) 食事代：自己負担※
① 要件	自然・田舎が好きで健康な人、コミュニケーション好きでまわりと協調して行動できる人、運転免許を持っている人 (交通手段がとても不便なため)
② 応募締切	滞在期間希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項記入の上、受け入れ団体まで郵送してください。
③ 宿泊施設	定住体験施設 木市 など町内施設
④ 食事形態	自己負担 (※体験施設にて自炊可能)
⑤ その他	1週間のショートステイ、または2週間以上の長期間滞在者を希望します 詳しくは電話、メールにて対応させていただきます。

(7) 地域担当者から一言

紀美野町では就農・定住の総合帰住事業を行っています。地域の方と一緒に汗をかいて、がっつりと本当の田舎暮らしを体験してみませんか？将来就農したい、田舎で働きたいと考えている方や、地域づくりについて学びたいと考えている方にオススメです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 産業・建設室
(ふりがな) にしおかやすみち 担当者氏名 西岡靖倫	TEL : 073-495-2339 直通 FAX : 073-495-2339
E-mail : nishioka-y@town.kimino.lg.jp	
URL : http://www3.plala.or.jp/kiminoteiju/index.html	
応募宛先 〒640-1243 和歌山県海草郡紀美野町神野市場 226-1	きみの定住を支援する会

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

わかやまけん ひだかがわちょう

No. — 3 3 : **和歌山県日高川町** (人口 : 1 0 , 6 2 2 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR新大阪駅から特急電車でJR御坊駅まで約100分。御坊駅から車で30分。
(路線バスで高津尾バス停まで約50分。徒歩3分)
大阪から近畿自動車道や阪和自動車道を経て川辺ICへ。川辺ICから約15分。

(2) 事業実施の目的等

・関西の田舎暮らし人気No.1の町で、地域作りに参加しませんか？
日高川町には不定期で学生が調査や農作業の手伝いに来て、新しい視点や提案により地域活性化につながっています。多くの学生さんに新たな提案・活躍をして頂きたい。また、体験型観光の受入のお手伝いや大学生の合宿や研修誘致の際に、ご活躍頂きたいと思っています。

(3) 体験の内容

・体験型観光のインストラクター補助。(間伐体験、手作り体験、農家民泊などのお手伝い。)
・ゆめ倶楽部21の事務の手伝い。
・農業や地域行事のお手伝い。

(4) 受入主体

日高川町 ゆめ倶楽部21

(5) 受入期間

7月～10月の期間
(出来れば1週間以上)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1/2補助 食費：自己負担
① 要件	特になし。大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好きな方。研究意欲が旺盛な方。(受入人数に制限があり、希望に添えない場合があります。)
② 応募締切り	特になし。 滞在希望日の1ヶ月前までをお願いします。
③ 宿泊施設	農家民泊「風呂谷ビレッジ」(1泊3千円)ほか
④ 食事形態	基本的に自炊です。 (食事付きの農家民泊もあります。)
⑤ その他	作業ができる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

本町は都会からの移住者が多い町です。地元住民と移住者が協働して地域づくりに取り組む「ゆめ倶楽部21」との交流は価値あるものと思います。また、農家の普段の生活や集落自治がままならない地域をそのまま体験していただき調査研究を深めていただければと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名	日高川町	担当部署	ゆめ倶楽部21(企画政策課内)
(ふりがな) 担当者氏名	とよしま のりお 豊嶋 法雄	TEL : 0738-54-0338(直通) FAX : 0738-54-0174	
E-mail	: yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp		
URL	: http://yumeclub21.hidakagawa.jp/ (「ゆめ倶楽部21」で検索)		
応募宛先	〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町大字高津尾718-3		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-34 : やまぐちけんながとし **山口県長門市** (人口 : 37,337 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車 サンデnbバス 長門湯本駅ー俵山公民館前 20分

(2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 温泉、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等)

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 受入費用：3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成26年 7月 4日 (金) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入地域となる俵山地区は、夏でも涼しく、人も自然もマイナスイオンたっぷりの昭和風情が今も残る温泉地域です。現在、NPO法人が主体となった俵山公国を発足させ、小さな政府を目指して活動中です。地域住民と一緒に考え、あなたのフレッシュな意見を求めています。
その他、海上アルプス青海島や金子みすゞ記念館、香月泰男美術館など見所たっぷりです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) 担当者氏名 吉永 勝洋	TEL : 0837-23-1116 (直通) FAX : 0837-22-0135
E-mail : chousei@city.nagato.lg.jp	
URL : http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://tawarayama.jp/	
応募宛先 〒 759 - 4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

やまぐちけんす おうおしまちょう
No.-35 : 山口県周防大島町

(人口 : 18,536人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 山陽本線 大島駅よりバス(大島庁舎前下車)で約15分
山陽自動車道 玖珂 I.Cより車で約30分

(2) 事業実施の目的等

男性移住者と比べ、育児や地域の付き合いなどでストレスを溜めやすいと思われる女性移住者に対して、回答しやすい同姓が意識調査を行うことによりサポート体制の構築や、定住促進の充実にを図る。

(3) 体験の内容

移住前と後で家計にどのような変化があったのか、田舎暮らしを始めて良かった点、苦勞している点などのヒアリング調査を行っていただきます。
※インタビューを通じ、地域づくりについて学んでいただけることがたくさんあります。

(4) 受入主体

周防大島町定住促進協議会

(5) 受入期間

7月 上旬～ 8月 下旬
3週間～4週間 ※応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受け入れ側負担 食事代：自己負担 ヒアリング調査に必要な移動経費は受け入れ側負担
① 要件	地域づくりに興味のある女性の方(女性移住者へのインタビューのため)
② 応募締切り	随時
③ 宿泊施設	周防大島町お試し暮らし住居「島暮ら荘」
④ 食事形態	自炊となりますが、近隣に飲食店、コンビニもあります。
⑤ その他	2名募集します。

(7) 地域担当者から一言

近年、都会ではなく地方での暮らしを選ぶ若い方が増えています。何故地方を選んだのか、そして実際に暮らしてみてもうなのか、生の声を聞くことでみなさんの今後に活かして下さい！

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県周防大島町	担当部署 周防大島町定住促進協議会
(ふりがな) とよなが・いずたに 担当者氏名 豊永・泉谷	TEL : 0820-74-1007 FAX : 0820-74-1015
E-mail : info@teiju-suo-oshima.com	
URL : http://teiju-suo-oshima.com/	
応募宛先 〒742-2192 山口県大島郡周防大島町大字小松126-2	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-36 : とくしまけんみなみちょう **徳島県美波町** (人口: 7, 568人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での1泊15日を予定
※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「④食事形態」のとおり
①要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
②応募締切り	平成26年6月30日（※当日消印有効） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）。
⑤その他	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ニガチヒデキ 担当者氏名 西口 英樹	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

えひめけんうわじまし
No.- 3 7 : 愛媛県宇和島市

(人口 : 83,064 人) H25.12.30 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伊予吉田駅(いよよしだ)から徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

愛媛県宇和島市はみかんの代表的な産地です。
夏と秋の忙しい時期にお手伝いをしていただける方を募っています。
果樹栽培の状況を知ったり、田舎暮らしを体験できます。

(3) 体験の内容

みかん農家のお手伝いをしていただく内容です。
主に、夏は摘果(てきか)、秋は収穫のお手伝いです。
農家民泊で、全国から来る様々な参加者との交流も深まります。

(4) 受入主体

宇和島市役所

(5) 受入期間

夏 : 7月海の日前後
秋 : 11月勤労感謝の日前後
3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 無料
① 件	18歳以上69歳以下の健康な方
②応募締切り	夏 : 7月1日(月)、秋 : 11月1日(金)、ただし、定員満了になれば締切
③宿泊施設	受入農家で民泊
④食事形態	農家民泊で朝、昼、晩提供
⑤その他	作業ができる服装、保険証のコピー、長靴

(7) 地域担当者から一言

平成20年から受入してもう7年目です。今まで延べ250名ほどの方が来られました。
みかん山からの眺めは素晴らしく、秋はみかん食べ放題です。
ホームページで内容ご紹介しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇和島市	担当部署 産業経済部商工観光課観光係
(ふりがな) かたおか ひろし 担当者氏名 片岡 紘志	TEL : 0895-24-1111 内線 2752 FAX : 0895-25-4907
E-mail : shoko@city.uwajima.lg.jp	
URL : http://www.city.uwajima.ehime.jp/kisaiya/usw/usw.html	
応募宛先 〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地 宇和島市役所 商工観光課 担当 片岡 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

こうちけんしまんとし
No.-38 : 高知県四万十市 (人口 : 35,635 人のうち西土佐地域 3,146 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄り駅 : JR 予土線江川崎駅
高知駅から窪川駅=予土線に乗り換え=窪川駅から江川崎駅 (計 2 時間半)

(2) 事業実施の目的等

『地域おこしボランティア』を募集します！
高知は日本一の森林県。特に四万十市西土佐地域は 92% が山で、最後の清流四万十川の中流域に 30 の集落が点在する渓谷型の山村集落です。この 50 年間で人口は半数ほどに減少し、若者の流出、住民の高齢化、土地・空き家の荒廃など問題が多くあります。失われつつある山の暮らしを体験しながら、若いあなたの元気なパワーや知恵を地域おこしボランティアで活かしてみませんか？

(3) 体験の内容

- ・農家さんのお手伝い(9月米ナス等、10月四万十栗、11月四万十ゆず、3月なばな)
- ・地域行事のお手伝い(お祭りやイベントのお手伝い、里山保全活動、耕作放棄地の開墾など)
- ・山の暮らしワークショップ(こんにやく豆腐づくり、わら細工、つるかごづくりなど)
- ・自由時間あり(四万十川の川遊び、カヌー体験、地域散策など自由に過ごせます)

(4) 受入主体

四万十市

(5) 受入期間

全 4 回 9 月 11 日～16 日、10 月 9 日～14 日
11 月中旬、3 月中旬を予定(5泊6日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 無料 食事代 : 自己負担(交流会 2,000 円)
① 要件	18 歳以上の明るくて健康的な男女 15 名
② 応募締切り	開催の 2 週間前まで
③ 宿泊施設	民家、公民館、宿泊施設を予定
④ 食事形態	宿泊施設で自炊
⑤ その他	保険証のコピー、作業のできる服装、靴、着替え、帽子、雨具、洗面用具など

(7) 地域担当者から一言

昨年 41℃ を記録して話題になった西土佐地域のボランティア募集です。比較的過ごしやすい時期の受け入れで、活動が盛んな地域づくり団体と連携して受け入れをサポートします。日程や内容のご相談など、分からないことがあればお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 四万十市西土佐総合支所	担当部署 地域企画課
(ふりがな) みき かおり 担当者氏名 三木 香織	TEL : 0880-52-1111 FAX : 0880-52-2124
E-mail : miki@city.shimanto.lg.jp	
URL : http://www.city.shimanto.lg.jp	
応募宛先 〒787-1601 高知県四万十市西土佐江川崎 2445-2	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-39 : ながさきけん 長崎県 つしまし 対馬市 (人口 : 33,546 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで5時間50分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分
- ・韓国釜山港からジェットfoilで1時間10分(比田勝航路)～比田勝港から車で45分
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で35分～対馬空港から車で1時間10分

(2) 事業実施の目的等

地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて対馬の地域活性化を図るため、①プロジェクト推進型中長期インターン、②プログラム参加型合宿(総合型「島おこし実践塾」、専門型「古民家再生塾」、③職業体験型インターン、④研究フィールド活動、を実施します。

(3) 体験の内容

地域おこしに関する現場当事者や地域関係者の指導のもと、農地再生や古民家再生活動、職業体験等を通じて、地域再生や環境保全に関する課題、現場で必要なノウハウ・スキルを学びます。また、参加希望者と地域側のニーズを調整しながら、「実践型プロジェクトの推進員」としてのインターン受入れや、卒業論文、修士論文、博士論文など対馬を対象とした調査研究フィールドワークの受入れも実施します。

(4) 受入主体

対馬市

(5) 受入期間

平成26年8月～12月頃
(※(2)の型及び受入先、本人の希望等により受入期間や滞在日数は異なります)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(※島内交通費は主催者負担) 宿泊費：主催者負担(予定) 食事・保険：自己負担 ※テキスト・講師代等は主催者負担
①要件	大学生、大学院生、社会人等で、将来、自然や文化が色濃く残る地域社会への移住、自然環境保全や地域振興など、社会貢献度が高く使命感に溢れる仕事を希望する方、ソーシャル・ビジネスに関心のある方を受け入れます
②応募締切り	平成26年4月～7月中に募集予定
③宿泊施設	民家等へのホームステイを予定
④食事形態	3食自己負担(自炊、地域の方々による炊きだし、宿泊先での提供、弁当等)
⑤その他	募集の詳細(募集要項)は4～7月中に対馬市のHPに掲載予定

(7) 地域担当者から一言

離島振興や地域振興に関心を持ち、現場で自ら学び取る熱意のある方のご応募をお待ちしております。「将来的な先進事例の見学者」ではなく、「先進事例を創り上げる1人の主体・当事者」として対馬の地域おこし活動にご参画ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名：対馬市	担当部署：地域再生推進本部 (H26.4よりしまづくり戦略本部が所掌予定)
(ふりがな) <small>まえだつよし</small> 担当者氏名 前田剛	TEL：0920-53-6111(代表) FAX：0920-53-6112(代表)
E-mail： tiikisaisei@city.nagasaki-tsushima.lg.jp	
URL： http://www.city.tsushima.nagasaki.jp/live/kouhou/images/201310/2.pdf (H25年度様子)	
応募宛先 〒817-8510 長崎県対馬市巖原町国分1441	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながさきけん おぢかちょう

No.-40 : 長崎県 小値賀町 (人口: 2, 735人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡県博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて5時間半(23:30発 朝4:00着)
【長崎県佐世保港より】 九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)
九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

(2) 事業実施の目的等

約1カ月間にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってもらいます。また小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

(3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験(稲刈り、イサキの夜釣り、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての体験・研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業関係者との意見交換

(4) 受入主体

小値賀町

(5) 受入期間

8月上旬から約1ヶ月間を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料(無料の宿泊施設あり) 食事代：原則自己負担 体験料：無料
①要件	島暮らしに興味があり、何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方 最終日には小値賀町に対する評価や提言等の報告会を開催します。
②応募締切り	7月4日(金)必着 ※別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設) 民泊
④食事形態	基本的に自炊(共同調理) 民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤その他	ビーチサンダルが必需品です。

(7) 地域担当者から一言

小値賀町には一度来ると病み付きになる大自然・美味しい魚や野菜、そして何より家族のようにあたたかい島民がたくさんいます。今まで出来なかったような体験を通して、あなたのフレッシュな感覚を、あすの小値賀の町づくりに活かしてみませんか!

(8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課企画振興班
(ふりがな)	えがわ こうたろう	TEL	: 0959-56-3111 (代表)
担当者氏名	江川 孝太郎	FAX	: 0959-56-4185
E-mail	: egawa-koutarou2@ojika.net		
URL	: http://www.ojika.net		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1 小値賀町役場 総務課企画振興班 宛		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くまもとけん うきし

No.-4 1 : 熊本県宇城市 (人口: 約62,000人 平成25年12月末現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分～50分
最寄りのJR鹿児島線 松橋駅から徒歩20分、タクシーで約5分

(2) 事業実施の目的等

若い世代に“市民手づくり”のイベントを体験できる機会を提供する事で、「行政頼りではなく、地域の課題は自分たちで解決する」という意識の醸成や人の繋がりを作り、地域の中にどんどん入って行き、活動する楽しさを学んで欲しいため。

また、若い世代目線の情報発信やイベントを盛り上げる手段と一緒に語り合う事で、自分たちのイベント自体も、更に発展していきたいと考えたため。

(3) 体験の内容

- ・会場に展示する「竹灯ろう」製作体験(竹加工・装飾)
- ・イベントスタッフ参加(高校生製作のステージや子どもたち製作の灯籠の設置、運搬、片づけ)
- ・次回開催時のアイデアと一緒に企画・立案(次年度にアイデアを活かした取組を実施予定)
- ・若い世代目線での情報発信についてのワークショップ開催

(4) 受入主体

(5) 受入期間

うきあかり実行委員会

10月31日～11月3日(1泊2日～2泊3日程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料(民泊) ※各家に分泊となる場合もあります。 食事代: 無料
①要件	住民と一緒にイベントを楽しめる人。「こんなことをすれば面白いのに」、「こんなこと出来れば良いなあ」という思いを持っている人。
②応募締切り	10月中旬頃までに連絡
③宿泊施設	宇城市内のうきあかり実行委員会メンバー宅での民泊
④食事形態	民泊先で、家族と一緒に自炊。朝食は自炊又はお弁当。
⑤その他	市民手づくりイベント「うきあかり」を一緒に盛り上げる人をお待ちしています。

(7) 地域担当者から一言

「うきあかり」は、本市の各地域づくり団体や保育園等の教育機関、地元高校生ボランティアを中心に「市民手づくり」で開催しているイベントで、今年で7回目を迎えます。5町合併で誕生した宇城市の旧町の壁を無くそうと、地元住民有志で始まった本イベントは、着実に本市の秋イベントとして定着して来ています。数千点の手作り灯ろう展示だけでなく、住民自身が出演者となるステージイベントや飲食関係の出店もあり、大変な賑わいを見せています。合併10周年を迎える本年は、本市の市民文化祭との共催で一層の盛り上がりを目指している所です。地元住民が自ら作る地域活性化・一体化の為の取組をぜひ一緒に体験して下さい!一つの団体だけでなく、各種団体が集まった本イベントだからこそ、学べる物が多々あると思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 定住促進課 定住促進係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari (うきあかり)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 定住促進課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くまもとけん う き し とよのまち

No. 4 2 : 熊本県宇城市豊野町 (町: 約 4,700 人 宇城市: 約 62,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町:

JR鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分～50分

最寄りのJR鹿児島線 松橋駅 (熊本駅～松橋駅: 約15分) からタクシーで約15分

(2) 事業実施の目的等

1. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。
2. 地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する。
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

(3) 体験の内容

- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加
(タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)
子どもたちと一緒に、竹切りから、小刀を持っての加工も行います。
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義
- ・移住者の経験や「外からの目」を活かした地域活性化のためのワークショップ参加

(4) 受入主体

(5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①3月下旬～4月上旬: タケノコ掘り (1泊2日) ②7月下旬～8月上旬: ソーメン流し、竹箸作り (1泊2日) ③12月下旬: 餅つき体験、ミニ門松作り体験 (1泊2日)
---------------	--

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 原則無料 (布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代: 自己負担 (料理体験等の費用。)
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①平成26年3月中旬 ②平成26年7月中旬 ③平成26年12月中旬 (特に締切は設けませんが、開催日を確定するため2週間程度前には要連絡)
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町 「光照寺」(寺泊になります)
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、震災後移住して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり昨年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元で根付いてもらう活動を続けて来ました。昨年は、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のALTの先生や海外からの留学生等も呼んでの国際交流体験も一緒に行っています。空き家改修補助金や移住助成金だけではない、地域住民が主体となった移住・交流に向けた取組を、ぜひ体験してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 定住促進課 定住促進係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) ja-jp.facebook.com/pages/うきのわ/403718689724495 (うきのわ)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 定住促進課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

くまもとけん う き し おがわまち

No.-43 : 熊本県宇城市小川町 (町: 13,000人 宇城市: 約62,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR鹿児島線 小川駅 (JR熊本駅~小川駅: 20分) からタクシーで10分 or 徒歩で40分
熊本空港から自家用車で、約40分

(2) 事業実施の目的等

- ・高齢化し、寂しくなりつつある商店街に若者の新しい息吹を入れる。
若い世代や他所の方のセンスや考え方を、今後の地域づくりに生かし、本事業以後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・廃屋を改修した古民家「塩屋」がスタッフの高齢化もあり、維持管理が難しくなっているため、若い世代と一緒に、次の世代へ繋げて行く取組を行う。

(3) 体験の内容

- ・築108年になる商家(古民家)の「屋根の修繕」と「庭園造り」体験
※古民家「塩屋」: 明治39年(1906年)に建てられた土蔵白壁の商家
- ・塩屋を拠点に活動する地元のお母さんたちとの創作料理作り・伝統料理体験
- ・地元住民や子どもたちとの地域づくり談義

(4) 受入主体

風の館・塩屋

(5) 受入期間

通年(3泊4日)
※一度に5~10人

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 原則無料(料理体験費用として、1人3泊で500円程度負担)
①要件	・古民家に興味があり、土いじりや簡単な修繕を楽しめる人 ・地元の元気な“パワフル”お母さんたちや田舎料理に興味がある人 ・3泊可能な人
②応募締切り	随時。(簡単な自己PRをメールにて送って下さい。)
③宿泊施設	風の館・塩屋(古民家で寝泊まりします)
④食事形態	・塩屋内のピザ釜(地域の子どもたちと制作)で石窯ピザや石窯パン作り体験 ・煮しめなど地元のお母さんたちと地域の伝統料理や創作料理作りを体験 自分で体験し、作った手料理を味わいます。
⑤その他	火鉢など、昔ながらの暖房器具はありますが、冬場は寒いので温かい恰好で。 入浴は、近所の温泉施設利用。

(7) 地域担当者から一言

風の館・塩屋は、平成10年に地元小川の女性グループ「風の会」が改修した古民家です。風の会はこの蘇った塩屋を中心に、地域のボランティアや商工会と地域全体の振興を考えたイベントや活動を続けて来ました。現在では、元「よそも」だった若い移住者が、塩屋に惹かれ、更に塩屋を元気にしようと活動を広げています。「古民家改修」・「地域づくり」・「田舎暮らし」このような言葉に惹かれる方は、ぜひ一度足を運んでみてください。元気で、素敵なお母さんたちが新たな出会いを楽しみに待っています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市	担当部署 企画部 定住促進課 定住促進係
(ふりがな) ちばさき すすむ 担当者氏名 千葉崎 達	TEL: 0964-32-1906 (直通) FAX: 0964-32-2222
E-mail: chibasaki-susumu@city.uki.lg.jp	
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html (風の館・塩屋)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 定住促進課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおいたけんおおいたし
No.- 4 4 : 大分県大分市 (人口: 478,753 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港。市中心部までエアライナーで60分
[電車]JR大分駅下車。日豊本線・博多から約2時間。豊肥本線・熊本から約3時間。久大本線・久留米から約2時間20分[高速バス]博多バスターミナルから約2時間30分。[車]大分自動車道大分IC下車 市中心部まで約10分。

(2) 事業実施の目的等

都市部と農村部との農業を通じた交流活動による地域の活性化やUJIターンのきっかけづくり。

(3) 体験の内容

受入れ農家における農作業実施。作業内容は農作業全般(シイタケのコマ打ち・収穫、ワラ立て、ワラ運び、野菜の栽培管理ほか)。

(4) 受入主体

大分市(受入れ農家をおっせん)

(5) 受入期間

応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担(JR大分駅から現地まで送迎可能です。) 宿泊費: 原則無料 食事代: 自炊分は自己負担。
①要件	18歳以上、性別問わず。ボランティアとして援農活動が出来る農業や農村に興味のある健康な人
②応募締切り	随時受付
③宿泊施設	公共宿泊施設(旧中学校施設)、農家民泊等
④食事形態	作業時間内の食事及び農家民泊の場合は受入れ農家が提供。公共宿泊施設に宿泊する場合は自炊となります。
⑤その他	時期、農家の作業状況等によっては受入れ出来ない場合があります。

(7) 地域担当者から一言

農村地域では過疎化や高齢化の進行による農業の担い手不足や集落機能の低下が問題となっています。都市部の方々にボランティアとして農作業のお手伝いをしていただくことで、農家の負担軽減や地域の活性化につながることを、大分市へのUJIターンのきっかけとなることを期待しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 商工農政部 産業振興課 地域産業育成担当班
(ふりがな) さとう しのぶ 担当者氏名 佐藤 忍	TEL: 097(537)7025(直通) FAX: 097(533)6117
E-mail: sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL: http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1389338556916/index.html	
応募宛先 〒870-8504 大分市 荷揚町2番31号 大分市役所 産業振興課 援農かつせ隊活動推進事業担当者 宛	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みやざきけん たかちほちょう

No.- 4 5 : 宮崎県 高千穂町

(人口 : 12,991 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

熊本駅または熊本空港→産交バスにて2時間→高千穂バスセンターにて下車
博多駅→西鉄バスにて3時間30分→高千穂バスセンターにて下車
※インターン時は熊本空港まで公用車にて送迎

(2) 事業実施の目的等

高千穂町内の地域で民泊をとおり、若者・よそ者の視点から《高千穂らしさ》を発見。町民と共に地域づくり活動を行い《形あるもの、目に見えるもの》を成果とすることで高千穂町の地域経済活性化に寄与(インパクトを与える)することを目指す。

(3) 体験の内容

- ① 高千穂の暮らし体験(1週間程度)
民泊(農家や民家にホームステイ)にて地域の人と関わり、高千穂の生活を体験。
- ② ①の体験終了後、ワークショップを実施。その後テーマ(5月頃詳細決定)に沿った活動を実施する。(下記は過去の事例)
 1. 高千穂町産の杉を使ったイスのデザイン、設計および制作。
 2. 古民家の改修
 3. 無人販売所の運営、改修など
- ③ 報告会の実施
最終日に活動の成果を町民向けに発表する。
- ④ 他自治体にて実施しているインターンシップに参加中の学生との交流会
- ⑤ 活動の状況を毎日 facebook ページにアップする。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

高千穂町(集落未来づくり協働委員会)	8月11日(月)~8月30日(土)20日間 ※変更の場合あり
--------------------	-----------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：委員会にて負担 食事代：自己負担(目安として1万~1.5万円) 制作費、材料費、活動費等：委員会にて負担(上限あり)
① 要件	◎募集人数：1~3名程度 20歳以上の大学生および大学院生 学部学科、経験不問。 創造すること、実現することに興味を持ち、行動するにあたるスキルを学んでいること。誰に対しても率先して元気よく挨拶のできる人。
② 応募締切り	平成26年5月30日(金)必着 ※選考有り。6月下旬までに文書にて通知します。
③ 宿泊施設	7日間：高千穂町内の家庭に民泊 13日間：高千穂町内の旅館、ホテルなどの宿泊先に滞在
④ 食事形態	基本的に町内の飲食店やスーパー、コンビニを利用するなど各自負担。 民泊中は、各家庭より提供
⑤ その他	主に持参してもらうもの。 1. ノートパソコン(タブレット端末でも可)※持っていれば 2. デジタルカメラ 3. 作業のできる服装 4. 高千穂町で20日間「楽しむぞ!」という気持ち

(7) 地域担当者から一言

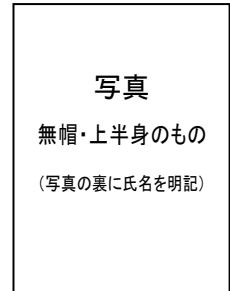
宮崎県を代表する観光地として高千穂峡などの自然景観や夜神楽など伝統芸能、高千穂牛などの農畜産資源を有する高千穂は、そこに暮らす人たちによって支えられています。高千穂町民と共に農村での暮らしや地域づくりを体験したいと考えている学生を待っています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 高千穂町	担当部署 企画観光課 地域振興係
(ふりがな) こじま たかのり 担当者氏名 児嶋 尚憲	TEL : 0982-73-1212 (直通) FAX : 0982-73-1234
E-mail : kikaku@town-takachiho.jp	
URL : http://www.town-takachiho.jp/	
H25 インターン活動内容(facebook) : https://www.facebook.com/takachihointerns	
応募宛先 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13番地 高千穂町役場企画観光課 地域振興係	

平成26年 月 日 現在

募集地域参加申込書



- ふりがな
 1. お名前： (男・女)
 2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地：)
 * 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
 学校、学部名： () 年
 * 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： _____
 * 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
 〒 —

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。
 (『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： _____ Eメール(PC)： _____
 電話(携帯)： _____ Eメール(携帯)： _____

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

